

話題

街にひろう

楽しみながらエコライフ

9月13日、市中央生涯学習センターで牛久市と牛久市消費生活展実行委員会主催の「第33回牛久市消費生活展&第8回うしく環境フェスタ」が開催されました。

大講座室で開催された「美顔筋



トレ〜アンチエイジング」は、消費者連絡会会員で歯科衛生士の中野まち子さんが講師となり、歯は全身の健康に関係していることや若々しくいられるように顔の筋肉のトレーニングを行いました。

多目的ホールでは、「荷造りひもでかごづくり」（上写真）や「ステンシルでマイバッグ」など、大勢の方が参加。午後から行われた「エコライフ推進フォーラム」では、活動発表と「今後さらにエコライフを広めていくにはどうしたらいいか」を話し合いました。

また、屋外でも「もったいない運動宣言」署名（右写真）でのお楽しみ抽選やリサイクル家具販売など、家族連れなどでにぎわいました。



一緒に作るのって楽しいね！

8月24日、三日月橋生涯学習センターで真菰まこもを使った「草馬（七夕馬づくり）」講座が開催されました。

昔、牛久沼の近辺では、旧暦7月7日の七夕の行事として、草馬（七夕馬）を作り、大きいものは子どもが乗ったり、引いたりして家々を回りお菓子などをもらうことを当時の子どもたちは楽しみにしていました。夕方になると、川や沼にこの草馬をいくつか流したといわれています。

牛久市出身の日本画家である小川芋銭の絵には、この草馬がたびたび登場し、現在では約20点が判



草馬づくりは夏休みの大切な思い出

明しています。今回のこの講座は7月に「小川芋銭研究センター」が誕生した記念に開かれました。

この日は、芋銭を学ぶ会会員の関口鉄夫さんが講師となり、牛久沼に生えている真菰を材料に、編んだり束ねたりしながら草馬を制作。出来上がった草馬には、竹の枝を差して願い事を書いた短冊を付け完成となりました。

祖父に誘われて参加した松本優奈さん（小学5年生・右写真）は、「難しかったけれど楽しかったです。おじいちゃんと協力して草馬を作ることができて良かったです」と笑顔で話してくれました。

学校給食のお米は100%牛久産です！



「子育て日本一」を目指す牛久市では、平成17年9月から市内小中学校の給食のお米はすべて地元産を使っています。将来を担う大切な子どもたちに食べてもらおうお米ですから、もちろん数々の条件をクリアした良質なものの。

市では、大粒の牛久産コシヒカリであること、栽培履歴や検査結果など、安全でおいしいお米の基準を設けています。農業者の方々↑牛久産のコシヒカリは程よい甘みと粘りとつやが特徴

も「牛久っ子のために」と、特に心を込めて毎年作ってくれています。今年も無事に収穫が終わりました。給食に登場する日が待ち遠しいかぎりです。

また、ほかの食材もなるべく牛久産のものを食べてもらいたいと、栄養士の先生方と牛久市営青果市場が協力して地産地消の推進に取り組んでいます。特に、年に3回企画される「牛久の日」給食は、乳製品以外のすべての食材を牛久産に限定したメニュー。子どもたちが牛久の旬の味を知る良い機会となっています。

井ノ岡集会所へ看板を寄贈

3月15日、井ノ岡集会所が地域コミュニティの場所として、修理再生されました。

この井ノ岡集会所の完成にあたり、奥野生涯学習センター主催で行っている木彫教室講師の山口崇先生に看板制作の依頼があり、このほど集会所玄関に寄贈されました。この看板は、ひのきの一枚板に彫刻し、黒い塗料でペイントを施したものです。芸術的にも優れた作品になりました。

みんなの力を出し合って犯罪から区民を守ろう！

このたび、みどり野区では、「防犯パトロール みどり野区」と書

かれた黄色い腕章をみどり野区全世帯に配りました。この腕章には、夜のパトロールでも目立つように反射材が使われています。(下写真)

最近区内でも空き巣などの被害が増え、不安要素が出てきたことを受けて、区民全体で



防犯意識を高め、取り組んでいこうという目的で配布されました。

自分たちの地区は、自分たちでも守っていこうという掛け声の下、買い物や散歩などの外出時にはこの腕章を常に身に着け、全区民で取り組んでいます。前から行っている子どもたちの下校時のパトロールでも、この腕章をつけて不審者などから子どもたちを守ろうと、決意を新たにパトロールを行っています。



空き地や空き家などの把握もパトロールの一つ

温かみのある手作りの看板





県南ソフトボール大会準優勝

「牛久市春季大会(広報うしく8月1日号17ページ掲載)」に優勝し、市代表として標記大会に出場した「栄スピリッツ」が、見事準優勝を果たしました。接戦の連続をチーム一丸となって勝ち抜き、惜しくも決勝で昨年優勝の下高津スターズ(土浦市)に敗れましたが、牛久市代表の力を遺憾なく発揮しました。

＜7月20日(日)・27日(日)、稲敷市白鷺球場＞

2008年少林寺拳法全国大会(県予選)



7月27日、水戸青柳公園体育館で行われたこの大会で、市内の少林寺拳法拳士たちが素晴らしい演武を披露しました。(敬称略)

【小学生規定組演武4級の部】

敢闘賞…谷中辰弥、金山征矢

【女子マスターズの部】

最優秀賞…北沢澄絵、伏見美峰(全国大会出場)

【一般男女有段の部】

優秀賞…尾崎諭司、中山和子

※全国大会は、11月2日(日)に岡山県体育館桃太郎アリーナで開催されます。

スポーツチャンピオンフェスティバル

小学生ドッジボール大会



優勝：中根フェニックス(中根小・上写真)

準優勝：栄町子供会(岡田小)

第3位：刈谷子供会(牛久小)

ダブルキャッチャーズ(神谷小)

＜6月14日(土)、牛久運動公園体育館＞

市長からの激励を受けて、林さんは「目標にしていた級なので身に付けられて良かった。これを一つのけじめにして、これからも頑張ります」と喜びを語り、石丸さんは「菊章は自分ひとりでは取れた訳ではないので、今後は下級生に技術を教えたいです」と決意を述べました。



ボーイスカウトの最高級「菊章スカウト」へ進級

8月15日、日本ボーイスカウト牛久第2団に所属する中学3年生の林恵利佳さん(写真左)と石丸香さん(写真右)が、菊章スカウトに進級した報告のため市長を訪問しました。

「菊章スカウト」とは、ボーイスカウト部門の最高級で、この菊章スカウトに進級できるのは、県内に約700人いるボーイスカウトのうち、年間約10人という狭き門となっています。2人はボーイスカウト活動で、奉仕活動・野外活動を行いながら、後輩に指導を行ったりして、努力を重ねてきました。

入賞・入選おめでとうございます

第8回全国こども陶芸展 in かさま
市生涯学習課主催の「こども陶芸講座」で作られた4作品が、8月7日から19日まで開催された「全国こども陶芸展 in かさま」で、見事入賞・入選しました。

この陶芸展には、全国各地から1200点を超える数多くの応募があり、これらの作品の中から入賞・入選作品として選ばれたことは大変すばらしいことです。

入賞・入選者の皆さん、おめでとうございます。

◆A部門(小学1年生～3年生)

- ・茨城新聞社長賞…渡邊清花(岡田小2年)作品「ローズガーデン」(左下写真)
- ・茨城工芸会長賞…竹下瑛人(岡田小3年)作品「ボワーン」(右下写真)
- ・優秀賞…中田一斗(神谷小1年)作品「日本一大きな100歳ザリガニ」

◆B部門(小学4年生～6年生)

- ・選奨…松村凜々(牛久小4年)作品「どうぞおすわりください」(敬称略)



「ローズガーデン」



「ボワーン」



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちょっと
休憩
ぶれいく

皆さんのお便りから

☆：キラキラ光る太陽を見ながら、この暑いのに私の息子(インコのネネ)は今ごろ死んでいるのか？生きているのか？失って10カ月にもなるのに私の心の中はあきらめることができない。「なぜ？」と自分に問い、私はあの子に話しかけたら、怒ったり、手間と暇がかかったがそれが私の生きが이었다ったことに失って初めて気が付いた。

皆さんはどのようにして生きる力を生み出して毎日を暮らしていますか。皆さんの生きがいとは…。教えてください。

ひたち野東・中西さん



南・犬塚さん

短歌・俳句・山柳コーナー

秋晴や赤い首輪の似合う犬

栄町 増田さん

竹ざさのそばでひらひらかげろうや

久野町 酒井さん

風に揺れ夕陽が染めし麦の秋

田宮 岡村さん

百日紅花も咲かず秋になる

牛久市 二国さん

華麗なる人生は夢いま加齢

島田町 坪井さん